



株式会社 C&F ロジホールディングス

2025 年 1 月 14 日

岩手県滝沢市に冷凍・冷蔵倉庫を完備した物流センターを 2025 年 6 月に開設予定

～北東北エリアをカバーし、持続可能なコールドチェーンを構築～

SG ホールディングスグループにおいて、低温物流事業を担う株式会社 C&F ロジホールディングス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長執行役員:綾宏将、以下「C&F ロジ」)では、2025 年 6 月竣工を目指して、岩手県滝沢市に新たな低温物流センターを建設中です。この物流センターは、C&F ロジの事業会社のうち、主に冷凍食品を取り扱う株式会社ヒューテックノオリン(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:安喰徹)が運営主体となり、同じく C&F ロジの事業会社で、冷蔵温度帯の食品を扱う名糖運輸株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:菅原剛)と、牛乳や乳製品の出入庫保管から輸配送を得意とする株式会社デイライン(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岩井浩)の 3 社で共同運営します。複数の事業会社が共同で運営する、冷凍・冷蔵温度帯を兼ね備えた施設は C&F ロジでは初となります。



北東北共同センター(仮称)完成イメージ

岩手県、青森県、秋田県の北東北エリアは、これまで各事業会社が業務ごとに協力会社へ委託し、同地区をカバーしていました。しかし高齢化などによるドライバー不足や、エネルギーコストなどの上昇による物流コスト自体の高騰もあり、既存業務の拡張や新たな業務の獲得に困難が生じ、事業継続すらリスクがあり得ることが課題となっています。また「物流 2024 年問題」と言われるドライバーの時間外労働時間上限の引き下げにより、宮城県など南東北エリアの自社拠点から、北東北エリアの納品先へ個々に届けることがかなわず、場所によっては途中で中継し、ドライバーを交替して配送するケースも散見されています。

そのため、同じ課題を抱えるヒューテックノオリン、名糖運輸、デイラインの事業会社 3 社が共同で運営し、それぞれの取り扱い品目に合った、冷凍・冷蔵・常温の 3 温度帯の保管機能を持ち、北東北エリアの納品先への配送機能と南東北エリアからの中継拠点でもある新たな自社施設を設置することとしました。このような共同運営施設

は C&F ロジでは初めてとなり、それぞれの温度管理や品質管理のノウハウを集約することで、従来にない新たな価値を提供することが可能となります。

同センターでの業務は、これまで取り扱いがあった冷凍食品やチルド食品の保管業務および共同配送業務や、病院施設への食材の配送だけではなく、新たに SG ホールディングス傘下の事業会社との協業によって、同エリアの特徴である EC 向けの農畜産物の保管や輸送業務、高齢者世帯に向けた宅配関連業務、また厳格な温度管理が必要な医薬品輸送関連業務などへの拡張が可能となり、グループ力を生かしたシナジーを創出していきます。そのほか同センターは、東北自動車道盛岡インターチェンジから約 10 分と交通の便に優れ、北東北 3 県をカバーすることができ、また自然冷媒を使用した冷凍機の採用や、全館 LED 照明とするなど、自然環境にも配慮しています。

C&F ロジは今後も、SG ホールディングスグループの一員として、それぞれの強みを生かしたシナジーにより、国内屈指のコールドチェーンを構築してまいります。

〈新拠点の概要〉

名称	(仮称)北東北共同センター
所在地	岩手県滝沢市大釜風林
敷地面積	約 12,686 m ²
延床面積	約 6,222 m ²
構造	一部 2 階建 1 棟
保管能力	冷凍倉庫 約 1,800 パレット 冷蔵倉庫 約 730 パレット 常温倉庫 約 100 パレット
主な設備	ドックシェルター16基、自然冷媒冷却システム、 全館 LED 照明、 保有車両(中型・大型合わせ) 15 台(予定)
竣工	2025 年 6 月(予定)

SG ホールディングスグループは、純粋持株会社 SG ホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

〈報道関係お問い合わせ先〉

株式会社 C&F ロジホールディングス 広報 IR 部

tel:03-5291-8100 fax:03-5291-6150 mail:cf-ir@cflogi.co.jp